

会 議 議 事 録

		記 録 者	係長 関ヶ原 功		
供 覧	部長	課長	補佐	係長	課員
件 名	平成27年度第4回龍ヶ崎市総合教育会議				
日 時	平成28年2月24日（水） 午後1時30分から				
場 所	市役所3階 庁議室				
主 催	中山一生市長（事務局：企画課地域戦略グループ）				
出席者	<p>中山市長，斎藤教育委員長，大野委員，鈴木委員，藤後教育長</p> <p>川村副市長，松尾総合政策部長，宮川企画課長，大貫課長補佐，記録者 荒井教育部長，足立教育総務課長，中村教育総務課長補佐，岡野係長， 黒田生涯学習課長，小貫指導課長，北澤スポーツ推進課長， 大和田給食センター所長，辻井教育センター所長</p>				
欠席者	1人（高橋教育委員長職務代理者）				
傍 聴	4人				
議 題	<p>1 開 会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 議 題</p> <p>（1）「教育大綱（素案）」について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉 会</p>				
情報公開	公開	非公開（一部公開を含む） とする理由		（龍ヶ崎市情報公開条例9条 号 該当）	
	部分公開 非 公 開	公開が可能となる時期 （可能な範囲で記入）		年	月 日

事務局	<p>定刻となりましたので、ただいまから平成27年度第4回龍ヶ崎市総合教育会議を開催いたします。</p> <p>なお、当会議は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」の第1条の4第6項に「原則公開で行うこと」と明記されていることから、本日の会議は公開で行いたいと思いますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、開会に当たりまして、中山市長より御挨拶を申し上げます。</p>
中山市長	<p>こんにちは。本日は委員の皆様におかれましては大変お忙しい中、第4回龍ヶ崎市総合教育会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。今、1カ月遅れのインフルエンザの流行ということもありまして、学級閉鎖などが出ているような状況でもございます。私も早目に予防注射をしたので、ちょっともう切れてるのではないかと心配しているところなのですが、ちょっと風邪を引いておりまして、御聞き苦しい点が多々あるかと思っております。あらかじめお詫びを申し上げます。皆様におかれましても、インフルエンザの予防はもちろんですが、屋内外などで体調管理に気を付けて、この変わりやすい春の季節を乗り越えていただければと思います。また、引き続き、龍ヶ崎市の子どものための教育にお骨折りをいただきますことをお願い申し上げます。</p> <p>龍ヶ崎市の市議会も、来月2日から始まります。一般質問の通告の中では、やはり教育への関心が高く、通学路の安全に関することや、主権者教育、さらに小中一貫教育に関する事など、市議会議員の皆さん方から教育分野での質問を多くいただいているところです。教育委員の皆さんもお忙しい中かと思いますが、ご質問の内容等は公開されておりますので、質問に合わせて傍聴などの時間をぜひ作っていただければなと思っておりますところでもございます。</p> <p>ここで若干お時間をいただいて、龍ヶ崎市の主な取り組みについてご説明をさせていただきます。昨年12月に国の地方創生の取り組みを踏まえ、龍ヶ崎市人口ビジョンと龍ヶ崎市まち・ひと・しごと総合戦略を策定したところです。日本全体で人口減少、少子高齢化が進んでおり、龍ヶ崎市でも、その例外ではないということでございます。この少子高齢化とひとづくりになっておりますが、私は、実は間違ってるんじゃないかなと思っております。高齢化社会は、長寿社会ですから、大変おめでたい、よいことでございます。</p> <p>一方で、大変深刻な問題なのは、この少子化というのが問題なわけでございます。長寿社会は、健康で長生きをしていただく中で、この少子化問題というのをこれからいかに改善をしていくのかというのが、この、まち・ひと・しごと総合戦略の役割であると考えております。市の将来推計では、人口減少が予想されているわけですが、今後5カ年の目標や施策の基本的方向や具体的な施策などを定めたものが、龍ヶ崎市の総合戦略となります。</p> <p>ちなみに、教育に関する取り組みとしては、この総合戦略の中に小中一貫教育の推進などを位置づけさせていただいているところでもあります。若い世代の方が、龍ヶ崎での生活が充実したものになるよう、結婚、妊娠、出産、子育て、教育。これらの五つの柱を主眼に、この龍ヶ崎市が、子育てしやすいまちとして日本一と誇れるようなまちづくりを進めて参りたいと考えているところでもありますし、日頃から訴えさせていただいているところでもあります。</p> <p>本日の会議の本題の方に移らせていただきますが、この総合教育会議におきましては、龍ヶ崎市教育大綱の素案について、ご協議をいただくこととなっております。この大綱は、法律の改正によりまして、市長が定めることとされているということです。そして、大綱の策定にあたっては、総合教育会議での協議調整とされているところでもございます。このため、今後、今回の協議事項である教育大綱（素案）については、市の政策的なものもさまざまな形で反映を</p>

	<p>させていただいているところでもございます。今回、私が市長に就任してからずっと思考をめぐらせていたものの一つに、命の大切さ、尊さなどをいかに子どもたちに感じ取ってもらえるか、それが教育の中でどのような形でできるのかという命題がございました。それをこの教育大綱の中にも盛り込ませていただきたいと考えているところでもございます。</p> <p>また、先程も申し上げましたが、この少子化というのは大変深刻な問題で、これからの時代にこの少子化の問題をいかに克服していくかというのがこれからの課題となるわけではございますけれども、少子化という現実をしっかりと正面にとらえて、マイナス思考ではなくて、この少子化の時代の教育というのは、新時代の新教育のある意味いい機会であるというような前向きな姿勢を持って、教育環境を充実していかなければならないというふうにも考えているところでもございます。</p> <p>教育委員の皆様方におかれましては、この教育大綱（素案）でございますが、忌憚のない意見、ご質問をいただいて、よりよいものにして参りたいというふうに考えているところでもございますので、ご協力お願い申し上げます。</p> <p>最後になりますが、龍ヶ崎市の未来を拓く子どもたち、龍ヶ崎の未来を支えていく人材育成、国家100年の体系は教育にありというのも、私も常日頃から言わせていただいているところでもございますが、今のまちづくりを担っている市民の方々にとっても、今よりもよりよい教育環境の充実が図れることを心から期待を申し上げまして、あいさつとさせていただきます。</p>
事務局	<p>それでは早速議事に入りたいと思います。</p> <p>議事進行につきましては、主宰者でございます中山市長、よろしくお願いたします。</p>
中山市長	<p>それでは、着座のままでございますけれども、総合教育会議の議事進行役を務めさせていただきます。慎重審議の上に円滑な議事進行にご協力をお願いを申し上げます。本日の議題でございますが、会議次第にもございますように教育大綱（素案）について、皆様にご協議をいただきたいと思いますと考えております。</p> <p>また、本日の会議時間については、3時に終了を予定しておりますので、委員の皆様におかれましては、先程申し上げましたが、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>それでは議題1の教育大綱（素案）について、担当から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>（事務局説明）</p>
中山市長	<p>はい、ありがとうございます。内容については、教育大綱（素案）ということでもございますが、ただいま資料の説明にあった通り、さまざまな多岐にわたるので、ページ数も多いものとなっております。そういうこともありますので、教育大綱（素案）のページ順に沿いながら委員の皆様からのご意見ご質問をいただいて参りたいと思います。それでは、まず1ページから3ページまでの序章について、ご意見、ご質問等をいただければと思います。いかがでしょうか。</p>
齋藤教育委員長	<p>2ページの教育プランのところなんですけど、ここに全体を示している説明図があるわけですけども、私たちは比較的何回か見てきてわかるんですけど、これを初めて見る方は、この矢印などがどのような背景でこの案となったのか疑問に思ってしまうのではないのでしょうか。手順とステップがうまく関連ができ</p>

	<p>ていばいいわけですから、もう少しわかりやすくなるような工夫がないか少し気になっています。</p>
中山市長	<p>ありがとうございます。教育大綱に合わせて、市の最上位計画も含め、様々な計画があるので、それらを並べて関連づけた矢印づけをし、一体的な龍ヶ崎市の政策の一つとして、教育というのも進めていこうというようにいろいろと盛り込み過ぎた部分もあるのかもしれませんが、しかし、この辺はもう少し見やすいように説明を加えて工夫していかなければならないかなと思います。ほかにありますか。</p>
藤後教育長	<p>5ページの方に教育を取り巻く状況などは記載されているんですけども、大綱をつくるに当たって、本市の置かれている教育的な面の現在の状況や課題等をもう少し序章のところに記載してもいいのかなと思っております。</p>
中山市長	<p>これは、全体の流れの中で、当然どの部分にもあると思いますし、3ページまでは内容や図が多いところでもありますので、その辺も今いただいた意見を参考にさせていただきたいと思います。</p> <p>それでは、次に移らせていただきます。</p> <p>続きまして、4、5ページまでの「基本理念」についてご意見、ご質問等を伺いたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
大野委員	<p>教育大綱の4ページの体系図は、木があり枝がありということで見やすいのかなという印象を持っています。</p> <p>一方、5ページの基本理念なんですけれど、まず、3段落目ですが、もとより教育はという部分のところにおいて、教育基本法にあるようにから始まり、この段落に多くの項目が入っており、教育全てのことが凝縮されてるような文章になっているかと思います。そのところは、もう少し簡単になってもいいのかなと思います。</p> <p>3段落目の4行目ですが、「個人の尊厳を重んじ」や「公共の精神等」は、理解が難しいのではないのかなと思います。</p> <p>続いて、基本教育法を踏まえた上での4段目となってるかと思うんですけど、大体は同じようなことが書かれていると思います。</p>
中山市長	<p>基本理念は大切なところだと思いますので、貴重な意見をいただきましてありがとうございます。今、個人の尊厳、真理と正義を希求し、公共の精神を尊ぶというところは、確かに表現としては難しく、場合によっては、大変解釈の幅も大きくなるということかかと思えます。しかし、文言については、もう少しわかりやすくできるかどうか検討させていただきたいと思います。</p> <p>また、3段目から4段目にかけては、この後の基本目標の次のページに展開していくという意味でも、このような書き方をしているところもあると認識しておりますので、この辺も表現があまり重複しているイメージを持たれないような書き方を工夫しなければならないかなと思います。参考にさせていただきたいと思います。他にございますでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>今の3段落のところですが、教育基本法の原文をそのまま書いているわけではないと思いますが、ある程度それを踏襲して書かれていると思います。であるならば、それは教育基本法なので、ここよりもどこか、大本の考えとして別枠にされた方がいいのかなと今お話を伺いながら思いました。</p>

中山市長	はい、ありがとうございます。文言などは教育基本法を参考にしながら書いた部分であると思います。この辺は、その理念をもとに、4段目の大切な取り組みに反映させていくことだと思いますので、全体のバランスはもう少し検討させていただきたいと思います。
藤後教育長	3段落目の真ん中辺に命の尊さと思いやる心とありますけれども、先程市長の思いが語られましたので、命の尊さというのは、4段落目に本市の取り組みや考えの方に落とし込んでいったほうがいいのかなと思いました。
中山市長	この場所に関しても、確かにご指摘の通りだというふうに考えられますので、この辺も参考にしながら、どこが1番ふさわしいか、どこが1番伝わるような書きぶりとなるか研究させていただきたいと思います。
齋藤教育委員長	4段落目における一文なのですが、かなり文章が長いと思います。文章はできていますので、上手に区切っていただけたら読みやすくなると思います。 もう一つは、言葉じりなのですが、「こととします」の表現が重複すると感じました。
中山市長	今、一段一文が長いということと文末が3行の間に「こととします」という表現が繰り返されているということがございました。この辺も、やはり読み手に伝わりやすいような形にしなければならないと思いますので、ご意見を参考にさせていただきます。 それでは、この点に関してはここまでとして、次に移らせていただきます。次は、6ページの(3)基本目標について、ご意見、ご質問いただきたいと思います。
齋藤教育委員長	基本目標の生きる力というところです。最後の2行について、後半から基礎的・基本的な学力の確実な向上を図るほか、自らが学び考える力の定着を図りますという表記ですが、向上と定着の表現が逆ではないのかなと感じました。また、健全な心身について、最後の四つ目にあります市民が楽しく健康的な生活が送れるようスポーツを通じてということを書いてあります。 スポーツ自体は、大事なことです。いわゆる子どもから大人までということになったときに、スポーツという枠をどの程度に捉えるのか。運動とスポーツをイコールとして捉えていいのかどうかも含めて検討してほしいと思います。子どもからすれば、スポーツをしなきゃいけないということだけでなく、やはり運動する機会が多いということも、大事なこともかもしれません。
中山市長	生きる力の部分ですけれども、まちづくりの視点等々も含めながら、表現をしている部分もありがとうございます。書き方に関しましては、ただいまの意見を参考にさせていただきながら、よりよきものにしていきたいと思います。今おっしゃられたような運動ということも含めて、この辺も表現を少し工夫させていきたいと思っています。
藤後教育長	齋藤委員長のところに戻るんですけども、学力の捉え方で、一般的に教育の世界では、基礎的・基本的な内容についても学力ですし、自ら学び考える力も学力というふうに捉えられています。教育委員会では、基礎的・基本的な内容を完全に習得する、定着させる、そしてさらにそれを基にして、考える力を伸ばして行って、総合的な学力を向上させるという考えとして捉えています。そういう意味で普段使っている言葉と少し違和感があると思います。

<p>中山市長</p>	<p>この辺の書き方は、教育の中で使っている書き方と少し違和感があるというお話も先ほどの委員長からもありましたので、そのような違和感のないような形で伝えられるようにして参りたいと思います。ほかにございますか。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>教育環境の充実の中で、グローバル化及び情報化という言葉ですが、後段の部分の説明の中で、具体的なICT等がでてきますが、グローバル化という表現は、どの部分が該当するのでしょうか。また、最近ですとグローカルというようなことだと思いますので、地域性というものはグローバルを担うものだと考えますので、まず、グローバル化について、先程のスポーツと同じようにどの程度で捉えるかを考えなければならないと思います。</p>
<p>中山市長</p>	<p>この点に関しましてもグローバル化は、今の時代にとって大変大切なことであると考えておりますし、この辺が基本的に進行形として見えるように少し工夫をしていく必要があるのかなと思います。基本目標の部分でもありますので、この辺は今の質問に答えられるような形でもう少し表現を考えていきたいと思っております。ほかにございますか。</p> <p>それでは、次に移らせていただきます。7ページの(4)基本方針の義務教育の充実のページについて、ご意見ご質問をお願いいたします。</p>
<p>大野委員</p>	<p>全体的な話からなんですけれども、教育プランの流れからいくと、基本理念を踏まえて、4つの基本目標、そして今から話し合う5つの基本方針となっています。何回か目を通したときに、基本方針の内容について、題目はいいとして、具体的施策というか、一つ一つが言い切った内容となっているのと、具体性が結構あるのかなというような気がしました。そして、また同じように具体的施策の例示があるんですけれども、中身をもう少し簡略し、その後、教育振興基本計画の方で、その具体的施策を出せばいいのかなというような気がしました。</p>
<p>中山市長</p>	<p>この後のページなどを見ても、上と下が対比しているようでそうでなかったり、そういうところもあります。やはりこの辺の書き方は、もう少し改善しなければならぬ部分だとも思いますので、もう少しわかりやすいような形で改善していきたいと思っております。ほかにございますか。</p>
<p>齋藤教育委員長</p>	<p>基本方針の二つ目、学力の向上のためという文章のところですが、非常に具体的な形が出ていまして、その中間のところに、学習習慣の定着や補習学習という言葉を使っています。さらには、次の行に無料学習支援が具体的な施策だと思うんですけれども、義務教育の基本方針に無料学習や補習学習が前面に来るのではなく、通常の授業を充実させて、さらにこの内容を記載する方がよいのではないかと感じました。</p>
<p>中山市長</p>	<p>ありがとうございます。この書きぶりに関しては大野委員からもありましたので、いろいろ検討させていただきたいと思いますが、今、学校教育だけでなく、社会問題として子どもの貧困化というような問題もありますので、それらをこの場所でその学習支援ということで盛り込ませていただいているところでもあります。昨日も水戸で、少子化対策の県の審議会だったのですが、そこでも子どもの貧困の問題が議題の一つとして取り上げられておりました。そこでの議論において、委員の中には、もっと義務教育の中で、ユニバーサルな教育で補っていくべきではないのかというご意見もございました。やはり、こ</p>

藤後教育長	<p>の子どもの貧困というのは貧困の連鎖を生むということもありますので、今の時代の中で、教育でどのようにしてそういう連鎖を生まないような体制がとれるかということも大事な課題だと思っております。表現の仕方等は検討するにいたしましてもこの辺は、やはりしっかりとこれからの政策として打ち出していくべきところなのかなというふうには考えております。</p> <p>今のことに少し関連するんですけど、二つ目の項目がやはり非常にわかりづらい表現になっているかなと思います。そして、学校教育でやることとそれを支援する対策といったものが混合して書かれている感じがいたします。</p> <p>例えば、補習学習は学校でやってもらうことを意味して書いているのか、学校とは別にその補習学習を何らかの形でやっていくのか、そういうのが一緒になって書かれてしまっているの、まずは、基本的な学力向上のために、学校教育できめ細やかな指導や教職員の資質向上、ICTの活用などがあって学力向上に向かいます。それ以外の部分でそれを支援する形でこういうことをやるというふうに表現していった方がわかりやすいのかなと思いました。</p> <p>また、下から二つ目の幼稚園及び保育園から大学までの教育施設等がある特色を生かしていこうという表現について、あとの文に続いていかなくなってしまいますけれども、幼稚園や保育園、小中学校は、どこの市町村にも多分あるのかなと思います。龍ヶ崎の特色は、高校と大学があることだと思うので、そこを強調して表現していければいいのではないかと思います。</p> <p>あともう一点なんですが、記載していないんですけども、平成26年に障害者の権利に関する条約を批准して、障がい者に関する面がクローズアップされて対応するということになっていきますので、特別支援教育のようなことについての記載があってもいいのかなというふうに思いました。</p>
中山市長	<p>最初の点は、先ほど大野委員からもありましたので、文章を精査し、読み手に伝わりやすいような形にして参りたいと思います。</p> <p>下の二番目の項目に関しましても、龍ヶ崎は大学を持つという大変大きな強みがありますので、その辺も少し押し出しながら表現を工夫していけたらいいのかなと思います。先ほどのご意見を参考にさせていただきたいと思います。</p> <p>最後の障がい者の特別支援に関してもここで触れていくべきというお話に関しては、再精査をした上で、どのようにするか検討させていただきたいと思います。ほかにございますか。</p>
鈴木委員	<p>四つ目の小中一貫教育について、市長が以前から進められており、小中一貫教育をここで推進しますということなんですけれども、ここでの書き方ですと、5年間の計画期間のうち全市を挙げて小中一貫教育をするのか、あるいは一部で実施というのが少しわかりにくいと思います。いきなり全市を挙げては少し混乱するかなという気もしましたので、この辺の表現を何かお伺いできればと思います。</p>
中山市長	<p>はい、ありがとうございます。やはり誤解を与えるような表現であってはならないということでもありますので、方向性として書いているという部分もあると思うんですが、その辺は誤解のないような表現にできればと思います。参考にさせていただきます。ほかにかがででしょうか。</p> <p>それでは、次の方に移らせていただきたいと思います。次は8ページについて質問を受けたいと思います。子どもの健全育成について、いかがでしょうか。</p>
斎藤教育委員長	<p>二つ目の人格形成においてというところで、その2段目に小1プロブレムと</p>

	<p>あります。最近使われている中1プロブレムを含め、この言葉を強調している部分があります。ターゲットが接続の部分だから大事にしたいということで書かれているんだろうと思うんですが、私はこの言葉を強調する意味があるのかなと思います。どの段階でも結構難しいのではないかと思います。反対に、その前の段階かもしれないし、ここだけに絞らない方がいいのではないかなという感じがしました。</p>
中山市長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。ただいまのご意見も参考にしながら、考えたいと思います。ほかにございますか。</p>
藤後教育長	<p>一つ目の各種セミナーについて、現在のところ教育委員会で取り組んでいるのは、子育てふれあいセミナーなんですね。そういったセミナーを増やしていくっていう意味で各種セミナーを充実させるということであればいいんですけども、現在あるものを充実させるという意味になるとまづくなってしまいうので、その辺のところの表記上の問題があると思います。それから三つ目の項目は、主語がない表現になっており、一層の充実を図りますということでは何の充実を図るのかという表現がないので、子どもが育つ環境をより一層充実しますということに結ばれるのであればいいんですけど、その辺の表現が曖昧な形で表現されているのかなと思いました。</p>
中山市長	<p>はい、ありがとうございます。各種セミナーに関しては、やはりこれからもメニューを増やしていくという思いも含まれているというふうに認識していただければと思います。この辺も確認をしながら、進めて参りたいと思います。</p> <p>3段目に関しましては、文章の内容が曖昧な形で捉えられてはいけませんので、3番目の項目についてももう少し精査させていただきます。ありがとうございます。</p>
大野委員	<p>下の具体的施策のところ、家庭の教育力を向上しますという表現より、向上するように何々しますというような具体的な表現の仕方がわかりやすいと思います。</p>
中山市長	<p>ありがとうございます。この件に関しましても、今さまざまなお意見をいただいております。この上の段と具体例のページの表現に少し一貫性がない部分もございますので、それを参考にしながら、書きぶりを考えていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。ほかにいかがでしょうか。</p>
齋藤教育委員長	<p>個人的意見だと思って聞いていただければと思うんですが、4段目の4つ目のことと絡んでくる部分もあるんですけども、やはり学校で子どもが教育してきたときと今大きく違う一つに、放課後という言葉がなくなってしまっていることです。放課後を大事にして、子どもと先生は遊んだり勉強をやったりし、そこに信頼関係が築かれ、子どもたちが自由に安全に下校できていたのです。ところが、今、その安全が守られないために、どうしても集団下校になってしまってしまうこともあります。地域も含めて、そこら辺をもう少し小学校と連携してできるものになれば、子どもの幸せにものすごく近づくのではないかなと思います。放課後の活用が上手に図られる安全下校が地域ぐるみでできれば最高だなという思いがあります。</p>
中山市長	<p>ありがとうございます。確かに今の子どもたちは、道草という言葉さえも知らないような時代になっています。自分たちの時代を考えると気の毒だなと思</p>

	<p>うような状況にあるということが今の斎藤委員長の思いにも含まれていると思います。この辺も今の委員長の思いも、どのように表現ができるか検討させていただきたいと思います。地域ぐるみで子どもたちと一緒に成長していこうというような、そういう思いが含まれた文章だと思いますので、今の思いをしっかりと受けとめていきたいと思います。ほかにございますでしょうか。</p> <p>それでは、時間もありますので、次に移らせていただきたいと思います。続きましては次の9ページ、生涯学習の推進について、ご意見、ご質問等をお願いいたします。</p>
斎藤教育委員長	<p>一つ目の地域活動の拠点であるコミュニティセンター、文化会館、中央図書館などのとあるのですが、こうやって並べていくと私はこの中央図書館の在り方、機能はもっと龍ヶ崎市は充実しているのではないかと思います。いわゆる知的な活動、または日常的な活動の核になるところになるのではないかと思います。なので、並列よりは、中央図書館にもう少し重きを置いた施策ができるならば、子どもから大人まで集まれる場所になるのではないのでしょうか。その取り出しみたいなのができたらいいのかなという意見でございます。</p>
中山市長	<p>ありがとうございます。図書館というのは、古代の七不思議にも入ってるぐらいのインフラ中のインフラだと私もいつも思っておりますので、それが大切なものであるというふうに考えております。今のところを取り出して、何か位置づけができないかというご意見をいただきましたので、これについても大変貴重な意見ということで検討させていただきたいと思います。ほかにございますか。</p>
藤後教育長	<p>あわせまして、生涯学習と文化財の方にも関係するんですけども、歴史民俗資料館もやはり社会教育施設といいますか、非常に重要な施設だというふうに思います。そこでの講座だったり、体験教室もありますので、それも記載しておいたほうがいいかなと思います。そして、この書く順序としては今は教育大綱ですので、社会教育施設を中心に書いて、そのあとにコミュニティセンターが関わってくるという順番が相応しいのではないかと感じます。</p>
中山市長	<p>ありがとうございます。確かに今でも歴史民俗資料館は、市民の皆さんにさまざまな形で活用されているところですので、この辺も貴重な意見として受け止めたいと思います。順番等も今のご意見を参考にさせていただきたいと思います。ほかにございますか。</p>
鈴木委員	<p>今気が付いたのですが、ここでも流通経済大学の市民講座等で、市民に対しての講座というものが開催している実績が確かにありますので、大学との連携という環境づくりについて記載いただけるのかなと思います。</p>
中山市長	<p>ありがとうございます。大変ありがたいことに流通経済大学は龍ヶ崎市に存在する最高学府でもございます。この辺も今のご意見や先程の大学のあるまちということ強調していくべきだというご意見もいただきましたので、この辺も反映できるのであれば、反映させていけるような形で検討させていただきたいと思います。それではよろしいでしょうか。</p> <p>それでは次のページに移らせていただきます。文化芸術の振興の10ページについて、ご意見、ご質問等をお願いいたします。</p>
藤後教育長	<p>4点目のところで、にぎわいの創出に向け取り組みを推進しますとなってい</p>

<p>中山市長</p>	<p>ますが、まちづくりとして表現していくときには、この表現でもいいと思います。しかし、教育大綱という形で表現していくときには、やはりそのようなまちづくりにも生かせるような文化財や市民遺産を充実させるという表現をしておいたほうがいいのかと思います。</p> <p>3点目の自主的に参加できる祭りのイメージがつかみにくいところです。教育大綱の中に織り込むのであれば、伝統的にその地域でずっと続けている市民遺産に認定されたものと思いますが、ここではそのイメージではないと感じます。このところは、ふるさと意識を育てたり、まちづくりの方に重みがかかっているような表現になっているのかなと思いました。</p> <p>あと、もう1点。子どもたちも含めて、郷土学習のようなものを充実させていくのだという表現があってもいいかなと思ったところです。</p> <p>ありがとうございます。表現についてのご質問もございましたので、この辺は、まちづくりの視点というものと、その文化財というものが、どうしても文化財というと文化庁所管でなかなか堅い省庁のところで取り扱われているところもございますので、やはりこの辺はまちづくりの視点と文化財の視点から見ていくのがいいと思います。まちのにぎわいもそうなのですが、当市にとって文化財はその大きな資産になっていくわけでもございますので、いかにまちづくりを連携させながら、3番目のふるさと意識の醸成も含めて、考えていかなければならないという思いで、このような項目が入っているというふうに認識していただければと思います。</p> <p>この表現については、今ご意見いただきましたので、参考にさせていただきます。3番目の祭りなどの1文でございますけれども、やはり今申し上げたように文化財的な活用をその祭りなどにも位置づけをしていかなければならないのかなという思いもありますので、書き方に関してはまだ少し不十分な部分もあると思います。そもそも、祭礼などが始まった当初の趣旨というのは、地域の結束を強めたり、地域の皆さんの親睦も図ったりとかいうそういう意味合いが恐らくあったんだろうと思います。そういうところから、ふるさとへの愛着とか、誇りとかが醸成されていくという目的もあったんだと思いますので、これは現代においても同じなのかもしれないという思いもございます。そういうことで、特にふるさと意識というものについて、子どもたちにとっては祭りの体験やその光景というのは、成長してからも自分たちのふるさとの原風景になっていくものであるというふうに思っております。ふるさと意識の醸成という意味でもこの祭りという文化財的な力を生かしていったらいいのかなというところで、この辺も表現ももう少ししっかりと考えていきたいと思いますが、そういう思いで載せさせていただいているところです。</p> <p>郷土学習についても、こちらもそのような意味でも大変大事なことだと思いますので、教育振興基本計画などにも記載し、反映させたものにしていかなければならないのかなと思っております。ほかにございますか。</p> <p>それでは、最後の基本方針、11ページのスポーツの推進についてでございます。ご意見ご質問をお願いいたします。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>一つ目と四つ目に流通経済大学があるので、一つ目を四つ目と統合してもよいのではないかと思います。</p>
<p>中山市長</p>	<p>四つ目に関しては、特にスポーツの部分では全国的に活躍をされていらっしゃると思いますので、それに力を入れたいという龍ヶ崎の思いが込められているということだと思います。</p> <p>特に前段はやはり底辺を広げていく、これは高齢者、障がい者なども含めて</p>

	<p>いますが、底辺を広げていく活動の中で大きな力の一つになるだろうと思います。最後に関しては、これは逆に頂点を高めていくようなときにこそ、やはりこの流通経済大学の戦力がなくてはならないというような表現にはなっていないというふうに認識をしております。</p> <p>今のご意見もいただきながらどういう表現が相応しいのか考えて参りたいと思います。ほかにございますか。</p>
大野委員	<p>三つ目の子どもたちが世界のトップレベルの選手と触れ合うという機会なんですけれど、私も触れ合いたいと思うので、市民が世界のトップレベルと触れ合う機会を創出するという方が良いのではないかなと思いました。</p>
中山市長	<p>その通りだと思います。子どもたちをはじめ、市民がというような形でもよろしいでしょうから、そのようなニュアンスで市民も含めて、世界のトップレベルの選手たちと触れ合う機会を創出するというふうな書き方に変更させていただければと思います。ありがとうございます。ほかにございますでしょうか。</p>
藤後教育長	<p>ワールドカップと冬季オリンピックが記載されているんですけど、どこに記載するか別として、やはり龍ヶ崎市はきちんと国体もやっているのだということをごどこかに加えていただいたほうが良いと思います。</p>
中山市長	<p>ありがとうございます。特に教育大綱に関しては、この計画期間の中に大きな国体も含めたスポーツ大会が三つ続くというふうな期間にもなりますので、その辺は、国体も含めて、位置づけをするべきであろうというご意見でしたので、これも参考にさせていただきたいと思います。ほかにございますか。</p> <p>それでは、この11ページについても他にないようですので、協議については、ここまでとさせていただきます。</p> <p>教育大綱（素案）については、只今いただいたさまざまな意見を踏まえながら、次回また改めてお示しをして参りたいと考えております。また、よろしくお願いいいたします。</p> <p>事務局から、その他何かあればお願いします。</p>
事務局	<p>次回の開催につきましては、4月27日、水曜日の午後1時30分を予定しておりますので、よろしくお願いいいたします。詳細は追って通知を差し上げたいと思います。以上です。</p>
中山市長	<p>それでは準備しておりました、すべての議事議題が終わりました。皆さんの慎重審議や、様々な貴重なご意見をいただいたことに感謝申し上げながら、議事進行の役目を終わらせていただきたいと思います。</p> <p>それでは以上をもちまして総合教育会議を終了いたします。ありがとうございました。</p>